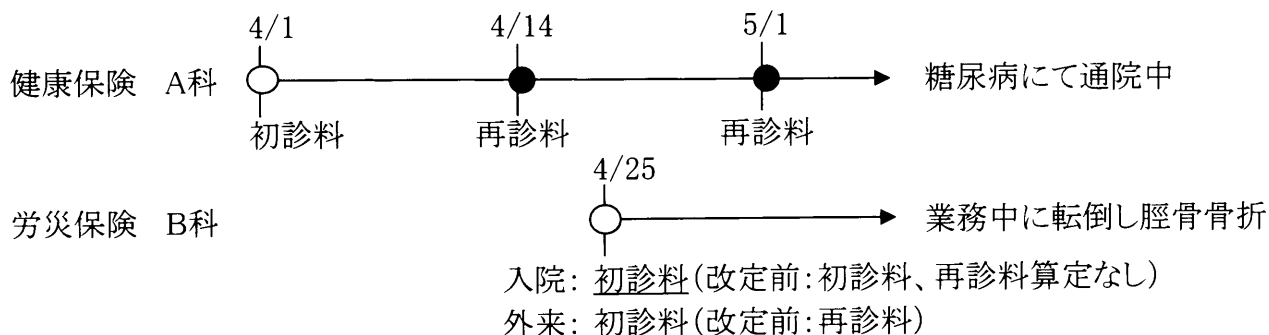


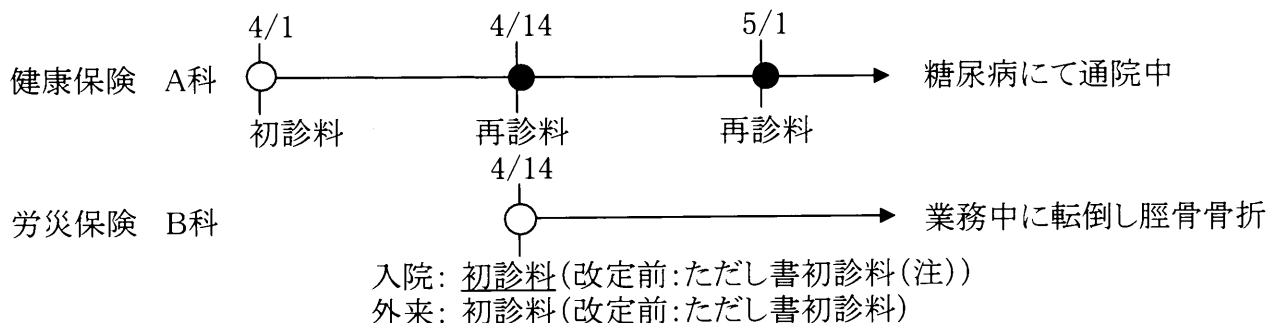
(算定例) ○:当科における最初の受診日、●:当科における2回目以降の受診日

①健康保険で継続療養中に労災保険による初診を行った場合の算定について



4/25の労災保険による受診について、改定後は新たに初診料3,640円が算定できる。

②健康保険の再診日と労災保険の初診日が同一日の場合の算定について

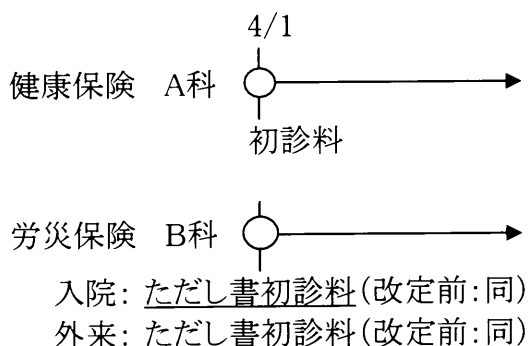


4/14の労災保険による受診について、改定後は新たに初診料3,640円が算定できる。(改定前は、初診料の注2ただし書の1,820円を算定)

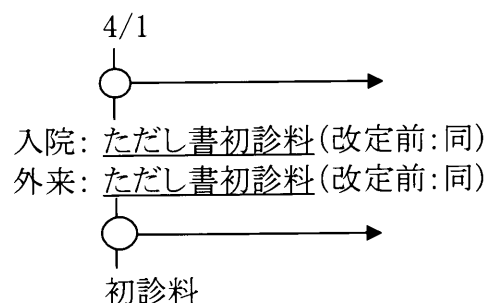
(注)ただし書初診料:健保点数表(医科に限る。)の初診料の注2のただし書に該当する場合である。(以下同じ)

③健康保険の初診日と労災保険の初診日が同一日の場合

(1)健康保険が主傷病の場合



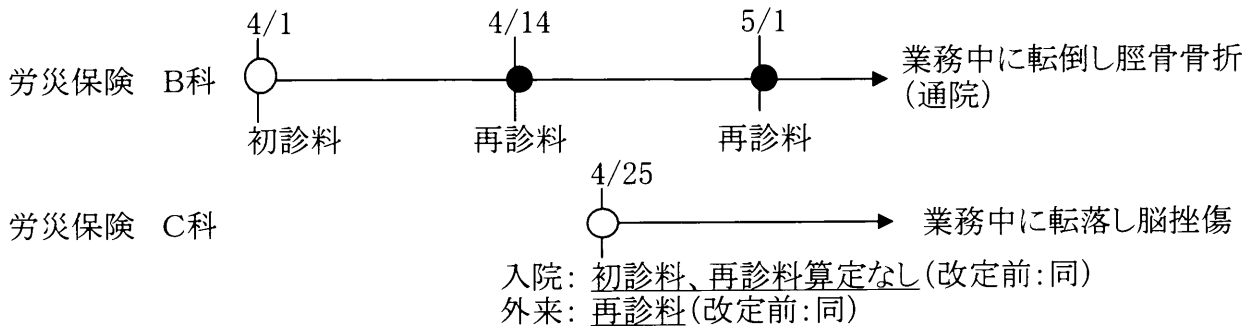
(2)労災保険が主傷病の場合



同一日に、同一医療機関において他傷病により別の診療科で初診を行った場合、初診料はそれぞれ算定できない。(初診料の注2ただし書の初診料は算定できる。)

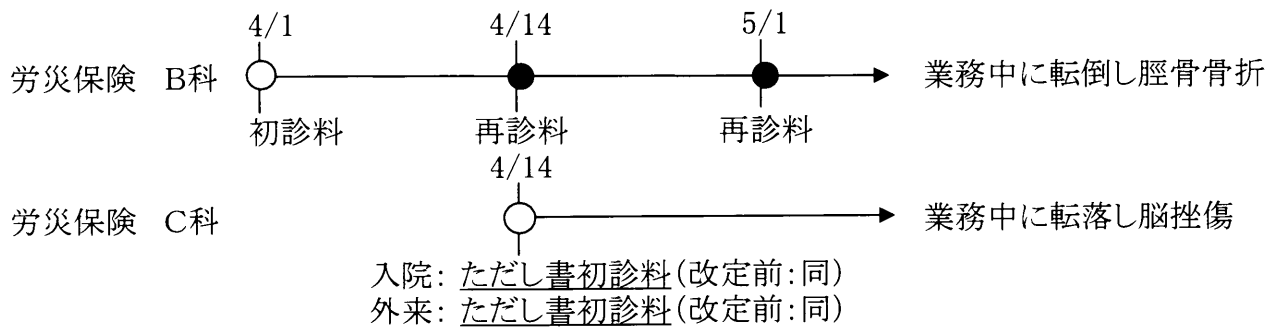
④労災保険で継続療養中に、新たな労災傷病の初診を他科で行った場合

(1) 労災保険の再診日と新たな労災保険の初診日が別の場合



4/25の労災保険による受診について、改定前と同様に、改定後は再診料1,360円を算定する。(ただし、入院の場合は、初診料、再診料の算定なし。)(労災保険にて継続療養中に、新たな労災傷病で初診を行っても、初診料3,640円は算定できない。)

(2) 労災保険の再診日と新たな労災保険の初診日が同一日の場合



4/14の労災保険による受診について、改定前と同様に、改定後は初診料の注2ただし書の1,820円を算定する。(労災保険にて継続療養中に、新たな労災傷病で初診を行っても、初診料3,640円は算定できない。)